

『一生懸命』幻の新座市議会報告第58弾!



たかむらともや

2010年 7月 31日発行

ねじれ国会

参院選が終わり 再びねじれ国会になりそうです。なかなか法案が通らないという心配もありますが、捻じれているからこそ、議論が活発になり 国民には分かりやすい展開になるのではと期待もしています。過半数を占めているからと、何でも与党の都合のいいようにされては困るのです。その点、新座市は厳しいものがあります。市長の提出した議案が市長与党 政和会・・・並木ま・並木へ 森田・嶋野・小池・平野・榎本議員。公明党・・・細田・亀田・中村・滝本・川上・北村・白井議員。刷新の会・・・平松・島田・佐原・柴崎・中村議員の19名)によって100%賛成され続けているからです。いいものはいい、悪いものは悪いという姿勢がないと、議会の価値はありません。前回の市長選では歴史に残る大接戦の末、須田市長が再選されました。須田市長に対してイエスという声が僅かに多かった訳ですが、同じくらいノーという声も多いのだということを忘れてはいけません。議会は市民の福祉向上のために、何がよくて、何がいけないのか議論する場です。黙って賛成の人ばかりでは困ります。語る会は勿論市長与党ではありません。それでも、60%～80%は市長提出議案に賛成しているのです。何にでも反対している訳ではありません。地方議会の存在価値が問われる時代になってきている今、是々非々でいきたいものです。

議会報告

26名になった新座市議会議員ですが、議会報告を出している人は何人いるのでしょうか。毎週発行している共産党の「いざ民報」は別格としても、定期的に発行している人は少ないと思います。刷新の会の柴崎さんや佐原さんは、議会ごとに場所を変えて「議会報告会」をしています。新座市全体を考えていく上でも、大事なことだと思います。僕も駅立ちと議会報告、頑張らないといけません。



北大時代のパートナーだった1年先輩の田村さん(中央)と今のパートナーで昔はライバルだった東北大の西谷君(右)と。三人が揃ったのは3年ぶりでした。

たかやんのプロフィール

本名たかむらともや。東京都新宿区生まれ。新宿区立西戸山中学、都立石神井高校を経て北海道大学へ。大学3年の時、突然教師になる決意をする。77年から教師として五中・六中・二中で21年間を過ごし98年退職。04年初当選。どの会派にも属せず一人会派「語る会」で、しがらみのない発言をし続けている。新堀・石神「たかやん塾」塾長。黒目川川づくり懇談会代表。石神3丁目在住。趣味はテニス・サッカー・料理・読書・カメラ・川掃除。新座五中・六中の男女硬式テニス部を率いて、県大会は50回以上、関東大会5回、全国大会2回優勝。学級通信「一生懸命」を20年間発行し続ける。議員日記は6年と6ヶ月毎日更新。アクセスは1万回を超える。小中高生と先生・保護者の生の声を聞きながら、日々教育を考え「観光新座ではなく、教育新座」を訴えている。ご感想・ご意見・ご提案をお待ちしています。

たかやんの連絡先

自宅 042-456-8869

携帯 090-6497-5737

mail: takayanchan@jcom.home.ne.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

🎣 第12回わいわい川あそび



第12回わいわい川遊びが、今年も8月の第一日曜日に栗原1丁目公園で開催されました。これは9時半過ぎの受付風景です。今年は200名を越える方たちが参加してくれました。



上の写真は当日の朝、みんなで採った鮎です。体調20センチを軽く超えるものも含めて、30分程で40匹程採れました。この鮎は投網で採ったものが殆どですが、中には子ども達が手編みで捕まえたものもあります。勿論、みんなで採って魚類調査をして、勉強をした後は放流します。投網を打つ人達は全員漁業権を持っている人達なので安心です。下の写真は投網名人の小松原さん。



一発で魚が沢山！投網の威力にこの人ばかりです。子どもたちはもちろん、大人もみんな驚いていました。アユ、オイカワ、アブラハヤ、フナ、コイ……



投網名人の佐藤君（五中卒）は、こういうこともできます。子どもたちはおおはしゃぎでした。僕などは何度習っても、なかなか均一には開きません。



今年もゴムボート遊びに子どもたちは歓声を上げました。みんないい顔してますよねえ。



今年の8月号もわいわい川遊びですみません。でも、子どもたちの笑顔は僕の生きがいなんです。議会とは何の関係もありますが、僕は子どもたちのこういう笑顔を見たいのです。子どもたちの笑顔が僕の全ての活動の原動力です。 たかやん